

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債権金額との差額について重要性が乏しいため償却原価法は採用していない。

(2) 固定資産の減価償却の方法

旧定率法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(1) 基本財産

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	36,499,306	0	0	36,499,306
建物	87,852,331	0	3,486,671	84,365,660
機械装置	37,172		10,324	26,848
展示品	76,620,000	0	0	76,620,000
国債	14,021,050	11,111,989	0	25,133,039
定期預金	12,000,000	0	12,000,000	0
合 計	227,029,859	11,111,989	15,496,995	222,644,853

(2) 特定資産

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	3,821,650	1,000,000		4,821,650
機械装置	1,775,640		411,948	1,363,692
合 計	5,597,290	1,000,000	411,948	6,185,342

3 基本財産及び特定資産の内訳

基本財産及び特定資産の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対する額
基本財産				
土地	36,499,306	36,499,306	—	—
建物	84,365,660	84,365,660	—	—
機械装置	26,848	26,848	—	—
展示品	76,620,000	76,620,000	—	—
国債	25,133,039	25,133,039	—	—
定期預金	0	0	—	—
小計	222,644,853	222,644,853	—	—
特定資産				
定期預金	4,821,650	888,011	3,933,639	—
機械装置	1,363,692		1,363,692	—
小計	6,185,342	888,011	5,297,331	—
合 計	228,830,195	223,532,864	5,297,331	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物	192,062,272	107,696,612	84,365,660
機械装置	3,418,590	2,028,050	1,390,540
合計	195,480,862	109,724,662	85,756,200

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
利付国庫債券(10年)	14,021,050	14,411,600	390,550
利付国庫債券(5年)	11,111,989	11,185,417	73,428
合計	25,133,039	25,597,017	463,978

6 補助金費等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金費等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増 加額	当期減少 額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金 現代工芸受取補助金	現代工芸中国会	0	50,000	50,000	0	-

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内訳	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	3,496,995
経常外収益への振替額	
特定資産計上による振替額	888,011
合計	4,385,006